



## 転職成功 Keyword!

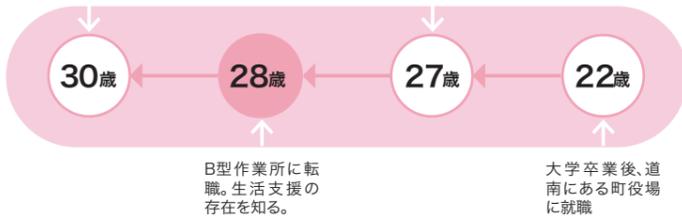
自己分析や施設見学で  
納得できる職場選びを!

3度目の転職にあたり徹底的に自己分析をした上で、面接する前に施設見学も希望しました。職場をよく見て、働く人の話を聞き、自分自身の思いを伝えることに時間をかけ納得の職場選びができたと感じています。

「この実会」介護  
スタッフに。

TURNING  
POINT!

管理栄養士とし  
て病院勤務。障  
がい福祉を知る。



## 高西さんの 仕事遍歴

りだと感じたそうです。

「もちろん、自身のステップアップも転職の目的でした。当法人は北ノ沢地区で通所型、入居型、就労継続支援と複数の施設を集約しているのが特徴で、支援が必要になる入りの段階から『終の住まい』まで、利用者様のライフスタイルや障がいの度合いに応じてさまざまなサービスを提供できます。他の法人と比較して、より幅広いことが学べそうだと確信したんです」

## 福祉の思想が生んだ、 働きやすい職場環境。

介護系の資格は持っていない高西さんですが、障がいのある方の介助については、B型作業所での経験や、日ごろから子どもの食事や排泄の世話をしていることもあり、ほとんど抵抗は感じなかったのだそう。現在はすっかり仕事にも慣れ、職場の働きやすさにも満足しているそうです。

「当法人では無資格・未経験の人でも活躍できるよう、先輩や上司が丁寧に仕事を教えてくれます。また家庭の時間も確保しやすく、育児の都合で早退や欠勤が必要な時、すぐに対応してくれると聞いて安心していきます」

## Message 上司からの メッセージ



第2この実会施設長 林 広康 さん

福祉の本質は人とお付き合いがすべてです。資格はもちろん法的に必要なものの、高西さんのように熱意や良い人柄の持ち主であれば、資格の有無は関係ないと感じています。また「障がい」とひとくりに言っても、性格も特性も利用者様によってさまざまです。当施設では「利用者様から学べ」をキーワードに、交流を通じて多様な人の価値観や福祉のあり方を学ぶことで、人間としての成長を遂げて欲しいと願っています。



働きながら勉強を重ね、将来的には介護福祉士資格の取得を目指している高西さん。人当たりの良さで、利用者さんからも気さくに声を掛けられています。



山あいにあるペンションのようなたたずまいも「第2この実会」の魅力。「ただ生活するのではなく、ここでの暮らしを楽しんでもらいたい」と高西さん。



## 社会福祉法人藻岩この実会 第2この実会

札幌市南区北ノ沢1904番地2  
☎011-572-6788

1974年(昭和49年)に前身となる法人を発足。札幌市南区、藻岩山の麓に位置する北ノ沢エリアで入所型、通所型など複数施設を運営し、利用者一人ひとりのニーズに応えた福祉を提供している。

# 転職



役場職員、管理栄養士、就労継続支援B型事業所の就労支援員を経て2023年11月入職。プライベートではパパになったばかり。

# ストーリー Tensyoku Story

転職という人生の大きな節目には、  
十人十色の理由があるはず。転職に  
踏み切った当時の心境とお仕事に  
対する思いを語っていただきました。

## 転職を重ねたどり着いた、本当になりたい自分。

社会福祉法人藻岩この実会 第2この実会 障がい者支援員 高西博明 さん

**豊**かな自然を望む北ノ沢地区で障がい者生活支援、就労支援に取り組み社会福祉法人藻岩この実会。同法人が運営する入所施設「第2この実会」で昨年11月から働く高西博明さんに転職ストーリーを伺いました。

転職を繰り返し、  
明確化した将来像。

「遠回りしながら、ようやく希望通りの職場に就くことができたんです」と切り出す高西さん。これまでさまざまな職場を経験し、自身のやりたい仕事を一歩ずつ明確化していったと振り返ります。

「大学で取得した管理栄養士の資格を生かそうと、卒業後は道南のある町役場に就職しました。数年を経て、たまたま異動で介護保険係に配属になり、そこで出会ったケアマネージャーさんに感銘を受けたのが、福祉に興味を抱いたきっかけです。高齢者の困りごとに丁寧な耳を傾ける姿を見ているうちに、いつしか僕も悩める人々を身近で支える存在になりたいと思うようになりました」

その後、病院の管理栄養士を経て札幌市の就労支援B型事業所で支援員として働き始め、約2年間、障がいを持つ人たちの支援に携わりました。

家庭との両立を目指し  
見つけた新天地。

高西さんに更なる転職が訪れたのは、結婚を経て30歳となった、2023年の春ごろ。新たな家族が誕生したことがきっかけでした。「当初から子どもが生まれたら、僕も積極的に育児に参加したいと考えていました。妻が仕事に復帰する時のことも考慮して、平日に休みをとれるシフト制の職場に転職しておけば、家庭と仕事を両立できると思ったんです。子どもの検診や役所の手続きって、平日の昼間に入ることが多いですからね」

そんな時、見つけたのが「藻岩この実会」の求人。介護系の資格無しでも働けることに加え、シフト制勤務、年間休日124日といった環境が家庭との両立にもぴった